

令和7年度

統計グラフ佐賀県コンクール

入賞作品集



## はじめに

佐賀県及び佐賀県統計協会では、統計知識の普及と統計の表現技術の研さんに役立てるため、毎年、統計グラフ佐賀県コンクールを実施しています。

今年度は、全6部門に534点の応募があり、特選6点、入選23点、佳作60点、特別賞として佐賀新聞社賞、サガテレビ賞を1点ずつ決定しました。

さらに、学校をあげて統計教育に取り組み、作品を多数出品するとともに、統計知識の普及に貢献された佐賀大学教育学部附属小学校、佐賀大学教育学部附属中学校及び早稲田佐賀高等学校の3校を学校賞に決定しました。

また、入賞作品の中から特に優秀な22点を統計グラフ全国コンクールに出品したところ、5点が入選に、3点が佳作に入賞しました。

### ★令和7年度 統計グラフ佐賀県コンクール応募状況★

応募部門	応募作品数	応募者数
第1部（小学1・2年生の作品）	20	20
第2部（小学3・4年生の作品）	43	43
第3部（小学5・6年生の作品）	30	31
第4部（中学生の作品）	235	255
第5部（小中学生のパソコン 統計グラフの作品）	74	80
第6部（高校生以上の作品）	132	132
合計	534	561

#### 【主催・後援・協賛】

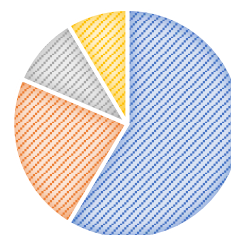
主催：佐賀県、佐賀県統計協会

後援：佐賀県教育委員会、株式会社佐賀新聞社、サガテレビ

協賛：江崎グリコ株式会社

#### 【審査員】

牛丸 和人 氏（西九州大学短期大学部 教授） 外11名



## ●総評（審査にあたって）

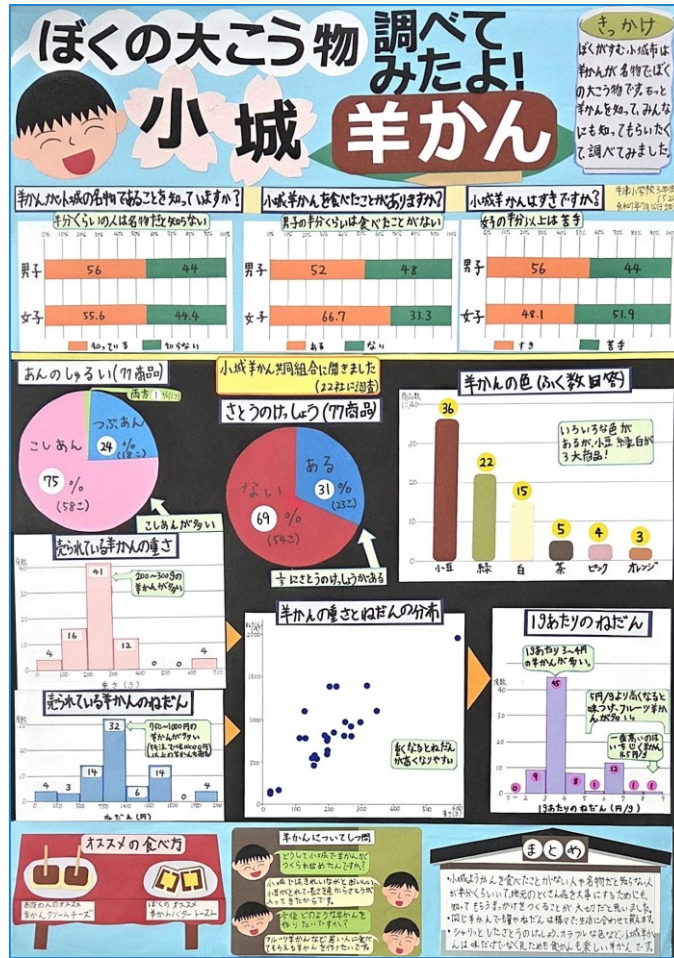
本年度の作品応募総数は534点で、昨年度の323点よりも211点も多く、統計グラフへの関心の高まりを嬉しく感じました。第2次審査では審査員6名の評価点の合計で順位付けをしますが、同点の場合は協議の上で最終決定をさせていただきました。今回の作品の傾向としては気候変動、熱中症、食品ロス、備蓄米、空き家対策、スマホの影響等の日々のニュースでも取り上げられているような身近な課題をテーマにしたものが増えている印象を受けました。一方、気になったのがパソコンを使った作品です。年々完成度が高くなってきているのですが、グラフの中には政府や関係機関が作成・公表しているものを安易に転載して使用したものが見つかりました。当然ながら選外としました。

統計グラフを作成する際には、データの正確さや使用するグラフの種類に加え、目を引くイラストや分かりやすい文字、それぞれの色遣い等にも配慮する必要があります。グラフを羅列するだけだと堅苦しい印象を受けますし、反対にイラストが多すぎてもデータが読み取りにくくなることがあります。インターネットでは全国審査で選ばれた作品を見ることができます。ぜひ参考にされてみてください。

西九州大学短期大学部 教授 牛丸 和人







小城市立牛津小学校 3年

岡田 拓巳

【講評】

岡田さんは自分が住んでいる小城市の特産品であり、大好物でもある「小城羊羹」をテーマにいろいろなことを調べてくれています。

小城羊羹に使われている餡や色の種類、値段や重さの違いをはじめ、砂糖の結晶の有無についてのデータも示されていてとても興味深かったです。グラフの色づかいかイラストもとても見やすく丁寧です。

最後のまとめでは、羊羹の美味しい食べ方の紹介もあり、統計グラフへの取り組みが、子どもたちや見る人たちの郷土愛を高めるきっかけにもなることが分かる作品です。

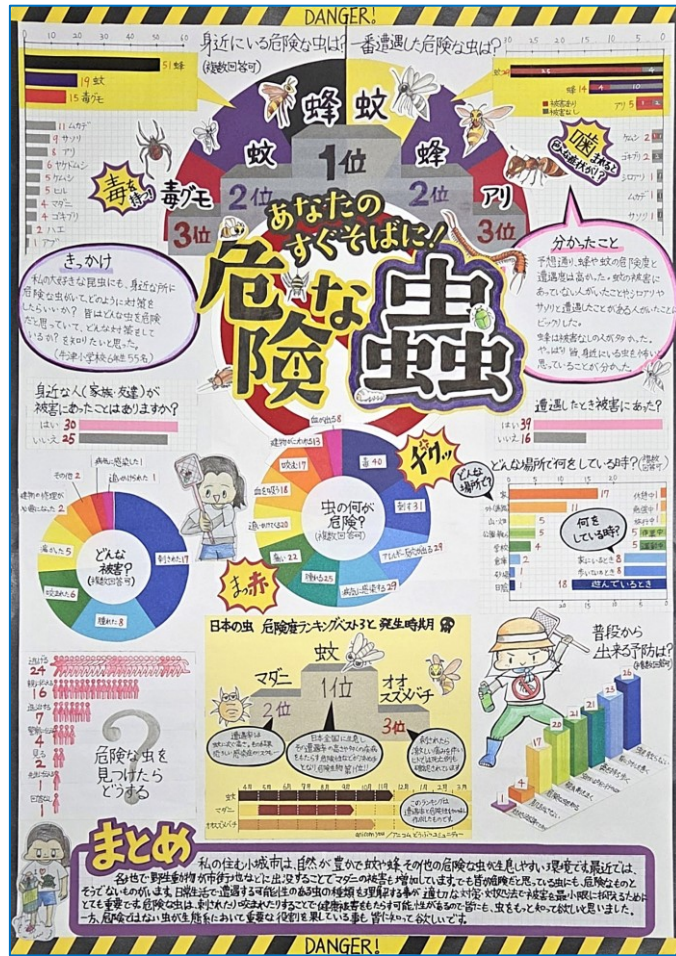
【受賞者の声】

3回目のちょうせんで、はじめて特選に選ばれてすごうれしかったです。

ぼくは小城羊かんが大すぎて、多くの人に小城羊かんを食べてもらいたいと思って、このテーマをえらびました。

地元の名物でも食べたことがない人や、羊かんが苦手な人が、ぼくが思っているより多く、びっくりしました。

いろいろな羊かん屋さんのインタビューをしたことが、大へんでした。ぼうグラフを羊かんの形にしたところを工夫しました。



小城市立牛津小学校 6年  
西口 ちはや

【講評】

とてもインパクトのある作品です。テーマの示し方、さまざまな種類のグラフの使い分けや描き方、そしてイラストの配置など、非常に見る側の興味を引きつけますし、内容も分かりやすいです。

近年は、気候変動の影響もあり人間や作物に危害を与える虫が変化してきていることにも意識を向けさせる内容になっています。

西口さんは最後のまとめの中に、虫を単に害のある生物としてだけとらえるのではなく「重要な役割を果たしている虫もいることを知って欲しい。」と書いてくれていることにも、とても共感しました。

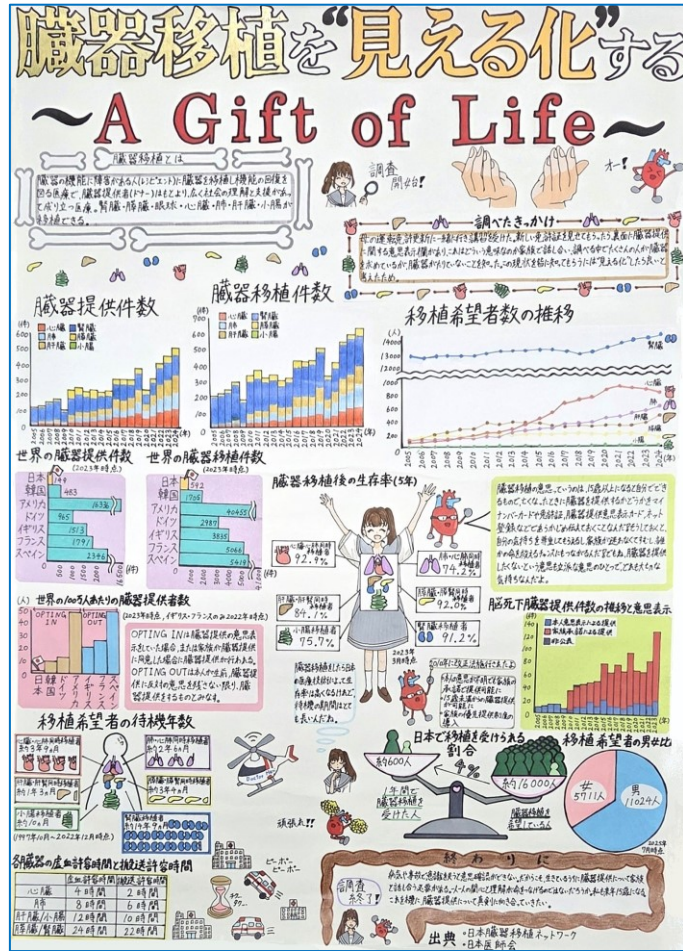
【受賞者の声】

賞をいただけると思っていなかったのですが、とても驚きましたが、同時にすごくうれしかったです。

身近にいる虫が、実は一番危険だと皆に知って欲しいと思い、「虫」という字を使えば嫌なイメージの虫を想像できると考え、このテーマにしました。

危険の定義も様々で、「毒」、「アレルギー」、「病気の媒介」など、一つではないことも分かりました。

色んなグラフを使って、虫の危険度を色で表しながらイラストやふき出しを入れて、見て欲しい所を強調しました。



佐賀大学教育学部附属中学校 2年

長田 明香里

【講評】

臓器提供について関心を持ち、いろいろなことを深く調べ、グラフの種類や色使い等も工夫してわかりやすくまとめ、「見える化」した作品に仕上がっています。

臓器ごとの移植希望者の推移と、臓器提供件数や臓器移植件数をみると、臓器移植を希望している患者さんのわずか4%程度しか日本で実際に移植を受けられない現実も知ることができました。

臓器提供の意思表示について、「提供する」だけでなく、「提供しない」という選択もでき、どちらの意思も尊重されます。長田さんも来年15歳になるということですので、臓器提供の話題を通して、日本の医療について考えるきっかけにしてみてください。

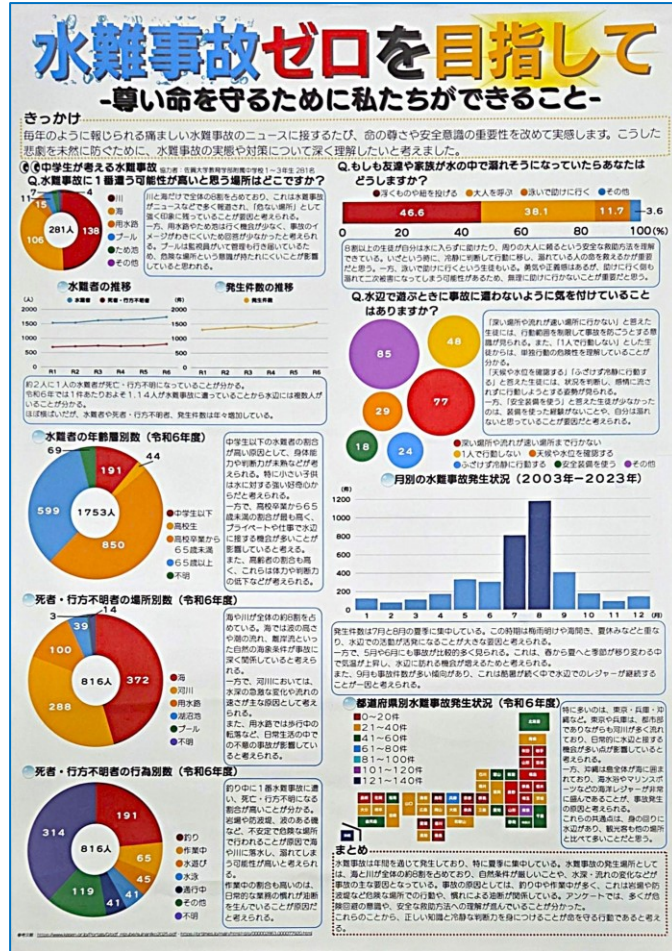
【受賞者の声】

五度目の挑戦で全国入選・県特選に選ばれ、頑張りが認められてとても嬉しいです。

母の運転免許更新と一緒にいき、新しい運転免許証を見せてもらい、臓器提供に関する意思表示欄を見つけたことが、このテーマを選んだきっかけです。

日本の医療技術は高いけれど、臓器提供数が世界と比較しても少なく待機期間が長いので、臓器提供者の確保が課題だと分かりました。

臓器移植をもっと身近に感じてほしかったので、説明を加えて分かりやすくし、絵を交えて楽しく見てもらえるように工夫しました。



佐賀大学教育学部附属中学校 3年  
陣内 心有

**【講評】**

今年の夏も暑かったですね。この作品制作も、暑い夏の時期に取り組んだのではないのでしょうか。ICTを活用した統計グラフですが、水滴を表現するなど、細かな工夫が感じられました。

夏になると、川や海、湖沼、プールなどのレジャーが増えてきます。楽しいはずの思い出が、一瞬にして命に関わるような危険な状況に変わったり、大きな水難事故につながったりすることもあります。

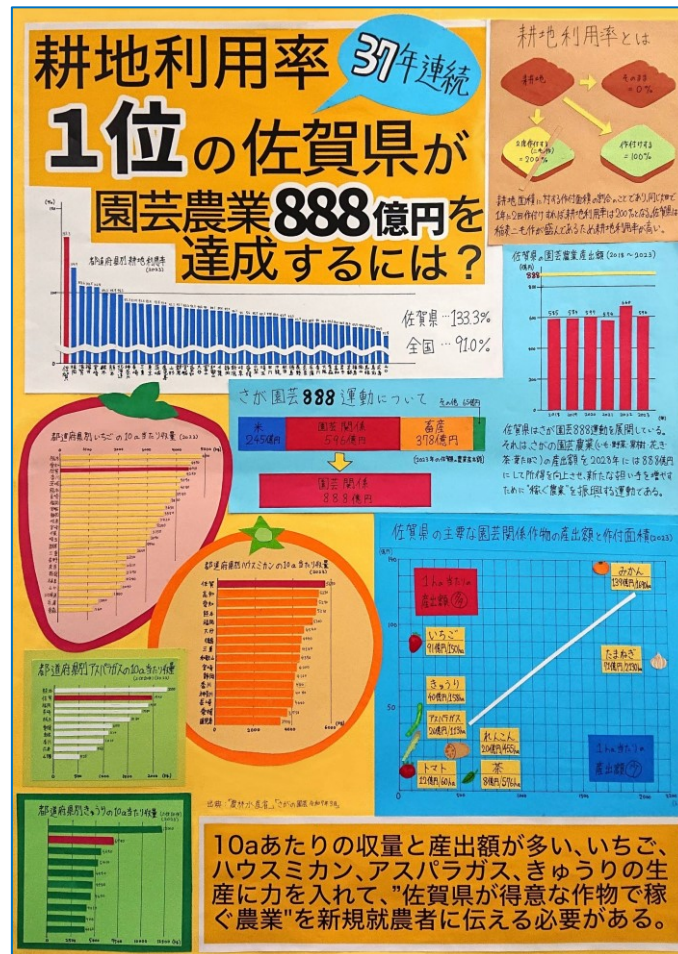
作品タイトルにもあるように、水難事故ゼロを目指して、周りの友人や家族など大切な人の尊い命を守るためにも、私たちができることを考えて、それを周囲に伝えてほしいと思います。

**【受賞者の声】**

パソコンの部での挑戦は初めてでしたが、全国入選・県特選に選ばれて、とても嬉しいです。子どもが水難事故で亡くなったニュースを見て、命を守る大切さを伝えたいと思い、このテーマにしました。

水難事故に遭わないために、一人一人が川や海への危険性について知り、対策することが大切だと分かりました。

一枚の白い紙から、より見応えのあるものにするために、グラフの使い方や構図、色、デザインなどを工夫して仕上げました。



早稲田佐賀高等学校 1年

岩永 一香

【講評】

まず、インパクトのあるタイトルに目がとまりました。耕地利用率とは？さが園芸888運動って何だろう？といった具合に、岩永さんの作品に引き込まれる人も多いのではないのでしょうか？果物や野菜をイメージさせる色使いにも工夫が感じられました。

佐賀県には各地域の自然や文化が育んだ果物や野菜など、全国に誇れる特産物がたくさんありますが、一方で、農家の高齢化や担い手不足も急速に進んでいる現状があります。

今回の統計グラフ制作をきっかけに、佐賀県農業の持続的な発展や稼ぐ農業について探究してみるのもよいですね。

【受賞者の声】

試行錯誤して作った作品なので、とても嬉しいです。

佐賀大学公開講座にて、佐賀の農業の特徴について興味を持ち、調べてみると、佐賀県は耕地利用率が高く、さが園芸888運動を行っていることを知りました。そこで、どうすれば888億円という目標を達成できるのか考えてみたくなり、このテーマを選びました。

佐賀県で生産量が多くて有名な玉ねぎでも、1haあたりの産出額は、いちごの18分の1であるように、生産量が多い作物の中でも稼げる作物と稼ぎにくい作物の差はかなり大きいことがわかりました。

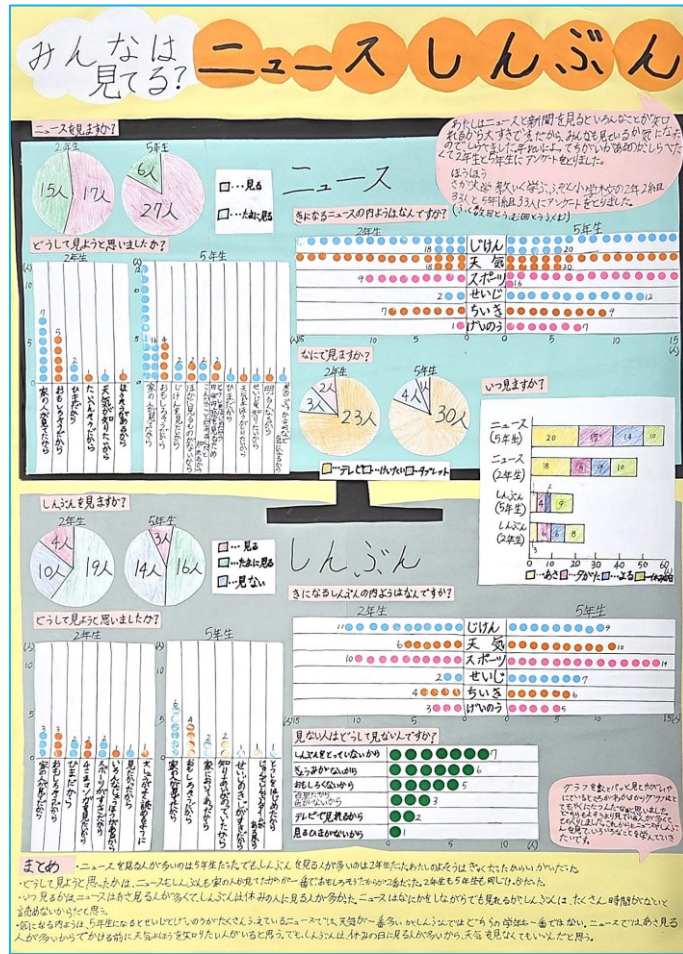
今まで作ってきた経験を活かして、一目で内容・結論がわかるように文字の大きさやグラフのデザインにこだわりました。さらに表現の幅を広げたかったので、初めて散布図を使用しました。

特別賞

佐賀新聞社賞

第1部

入選



佐賀大学教育学部附属小学校 2年

岩岡 花

【講評】

「ニュース（テレビ、インターネット）」と「新聞」にテーマを大別し、小学生がいま何に興味を持っているのか、日々の生活の中で、いつ、どのような状況で情報を取得しているのかなど、様々な視点からアンケートを実施。「まとめ」では、その結果から、それぞれ媒体特性の考察を交え、的確に分析、自分の言葉で解説されているのが素晴らしいです。

また、設問ごとに棒グラフ（タテ/ヨコ）、円グラフを使い分けて見やすくレイアウトしており、テレビ画面と新聞紙面を背景とした演出も目を引きました。

【受賞者の声】

二つのしょうにえらばれてとてもうれしいです。

ニュースや新聞を見ると色々なことが分かるからよく見ます。ほかの人も見ているか気になったのでこのテーマにしました。

ニュースも新聞も、よそより見る人が多かったのでおどろきました。

気になる内ようがニュースと新聞でちがうことが分かりました。

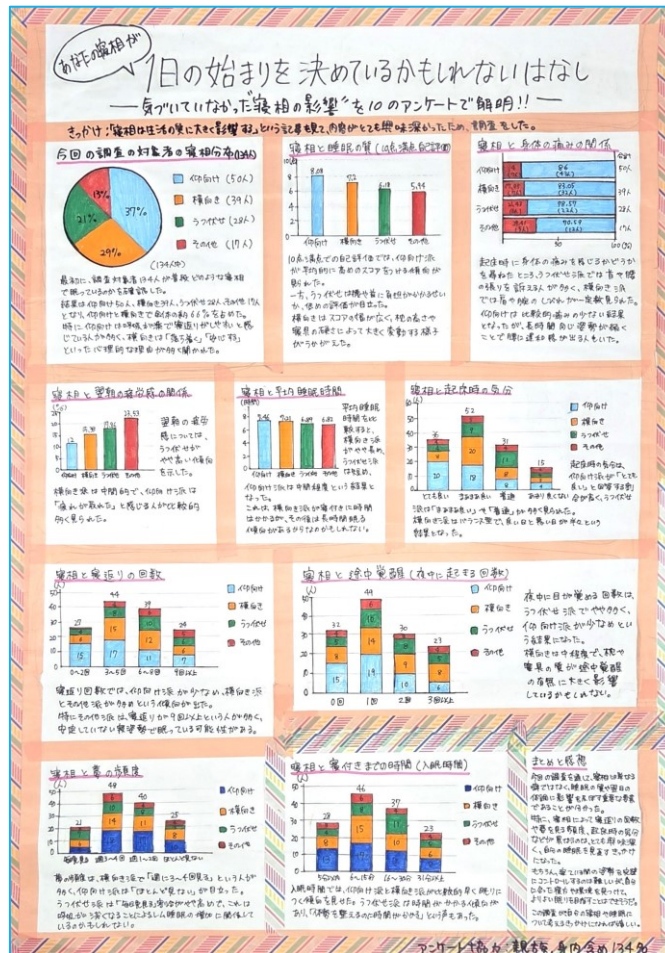
アンケートをまとめるのは大へんだったけど、グラフにするとぱっと見てちがいやにしているところが分かるから、グラフはとてもやくにたつことが分かりました。

特別賞

サガテレビ賞

第6部

入選



早稲田佐賀高等学校 1年

佐倉 愛佳

【講評】

まさに発想・着目点の勝利です。世の中には重要な統計が数多くあります。寝相と睡眠（夢を含む）の相関関係は、世の中に絶対に必要な統計ではないかもしれないけど、こういうのを高校生がまじめに調べてくれるから大人はほっこりするんです。

特に睡眠の質を追い求めはじめた年代の審査員としては、食い入るように見てしまい、審査以来うつぶせ寝を卒業。タイトルの付け方も通りすがりの人間の足を止める巧妙さがあり、見事でした。

【受賞者の声】

まさか自分が選ばれるなんて思ってもいなかったもので、選ばれたと聞いた時は本当に驚きました。

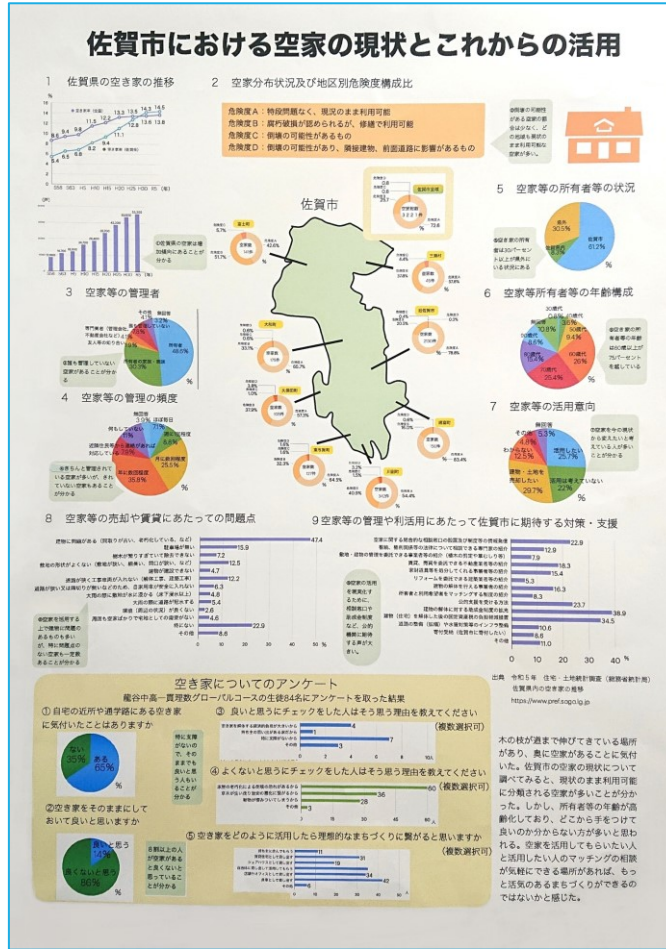
このテーマを選んだのは、人生の3分の1は睡眠であるため、睡眠について詳しく知ることにより有意義な人生を送れると考えたからです。

調べてみて、横向きや仰向けなど、寝相は睡眠の質と関係しているということに気づきました。

アンケートの結果をまとめたり、自分からグラフや図を作ることにとても苦労しました。



第6部



学校法人佐賀龍谷学園龍谷高等学校 2年

豊増 恒生

【受賞者の声】

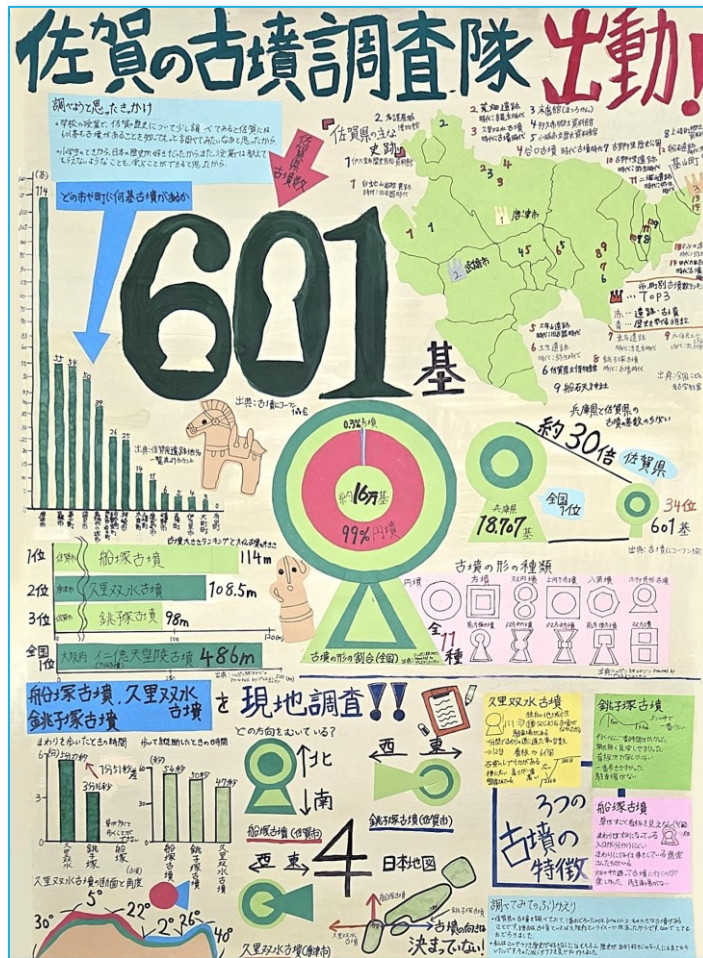
小学校の時から毎年応募していて、初めて全国で入選することができました。とても嬉しいです。

佐賀の空き家の現状と、空き家を活用したい人が抱えている問題を知りたいと思い、このテーマを選びました。

空き家は多く存在するが、修繕すれば利用できる建物が思った以上にあることが分かりました。

見る人が分かりやすいように地図を取り入れ、グラフのレイアウトを工夫しました。

第4部



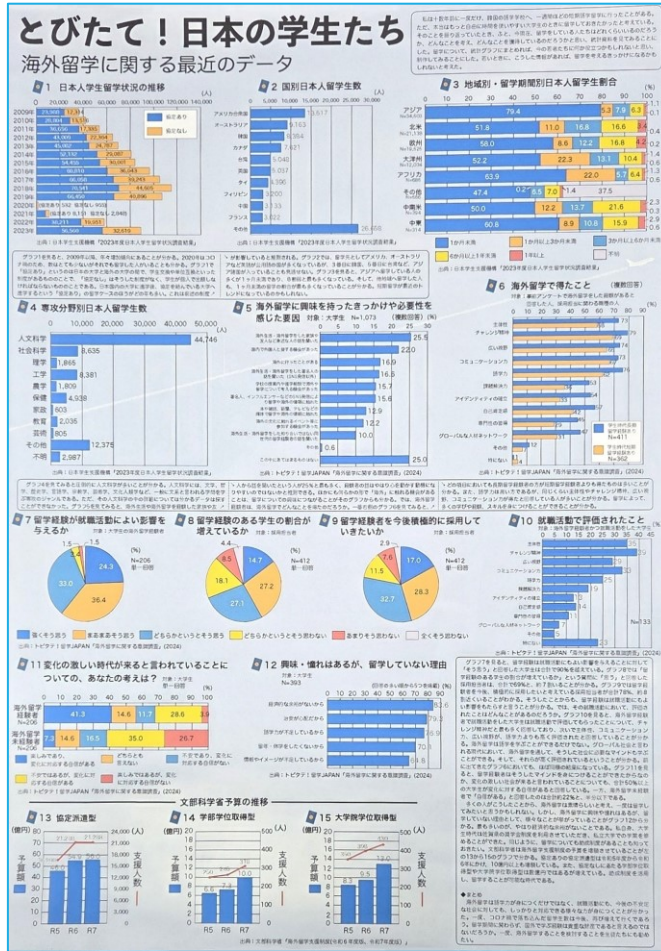
佐賀県立武雄青陵中学校 1年

鷹巣 堇

【受賞者の声】

全国佳作に選ばれて、とっても嬉しいです。  
 小学生のときから好きな歴史について、もっと詳しく知りたいと思い、このテーマを選びました。  
 調べるなかで、実際に行ってみないと分からない古墳の魅力がたくさんあることに気づきました。古墳だけではないと思うので、たくさんさんの遺跡に行ってみたいです。  
 どんな風にしたら、歴史に興味がない人でも楽しくグラフを見ることができるかを考えるのが大変でした。今回作品を作った経験を、今後活かしていきたいです。

第6部



一般

中村 純一

【受賞者の声】

いただいたデータを大切にしながらグラフ化したので、このテーマに関することが広く伝わりうれしい気持ちです。

生徒に対して留学を勧める立場の教師が留学についての情報を知るべきだと思い、自らの学びの一環としてこのテーマを選びました。

調べるなかで、留学生が増加傾向にあること、留学経験のメリットなどに加え、国の支援がしっかりしていて、それが増加しているといったことに気づくことができました。

留学のよさが伝わり、留学したいと思ってもらえるような動機づけにつながるデータ選択やグラフの構成、表現方法に苦労しました。

留学経験が就職活動にどのような影響を与えているか (A)

1.5% 大きくプラス  
18.6% ややプラス  
24.3% プラス  
33.0% プラス/マイナス  
36.4% マイナス  
1.5% 大きくマイナス

留学経験のある学生の割合が増えているか (A)

44.8% 増えている  
14.7% 減っている  
18.1% 変わらない  
27.2% わからない

留学経験を今後積極的に採用していただきたいか (A)

21.1% はい  
17.0% いいえ  
32.7% どちらでもない  
29.2% わからない

変化の激しい時代が来ると言われることについての、あなたの考えは？ (A)

海外留学経験者 41.3%  
海外留学経験者なし 34.6%  
海外留学経験者なし 11.1%  
海外留学経験者なし 28.6%

興味・関心はあるが、留学しない理由 (A)

25.6% 費用が高すぎる  
22.0% 海外での生活が不安  
14.9% 海外での就職が難しい  
16.9% 海外でのキャリアアップが難しい  
15.6% 海外での研究や学問の進歩が難しい  
13.9% 海外での人脈構築が難しい  
12.2% 海外での生活体験が難しい  
10.0% 海外での語学学習が難しい  
0.6% 海外でのボランティア活動が難しい  
25.9% 海外での旅行が難しい

協定派遣型 (A)

R5: 10人  
R6: 15人  
R7: 20人

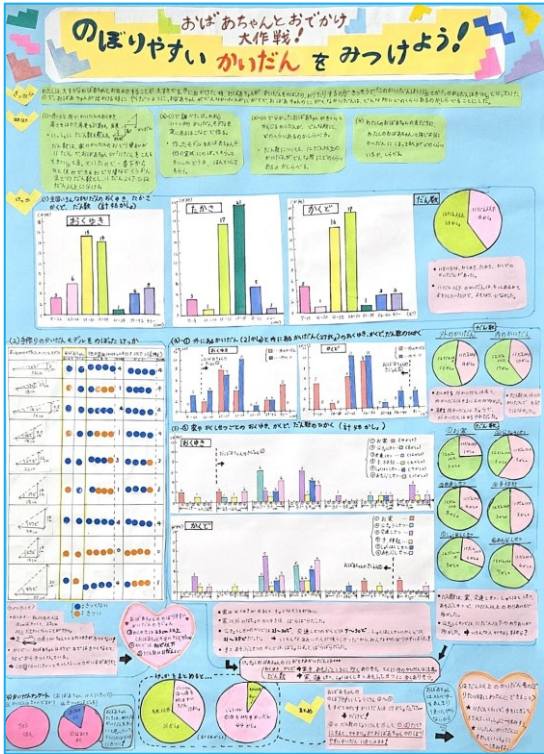
学部学位取得型 (A)

R5: 10人  
R6: 15人  
R7: 20人

大学学位取得型 (A)

R5: 10人  
R6: 15人  
R7: 20人





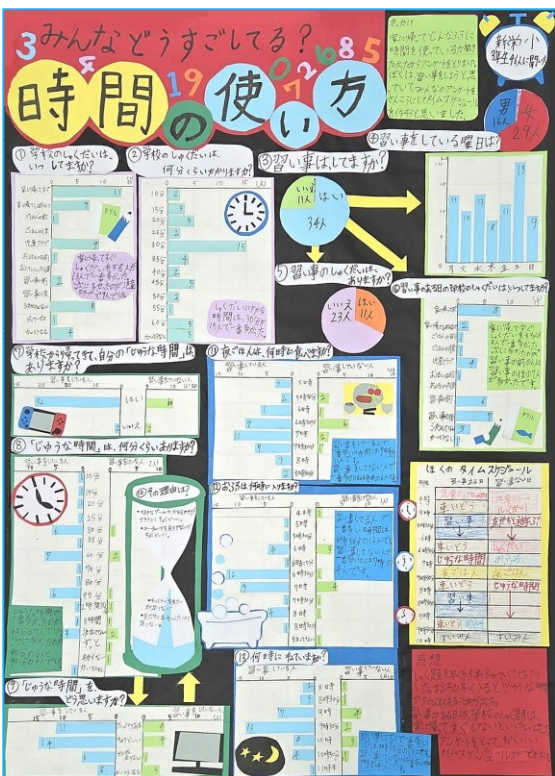
佐賀大学教育学部附属小学校 3年

山下 桜奈



佐賀市立鍋島小学校 4年

内山 陽菜汰



佐賀市立新栄小学校 3年

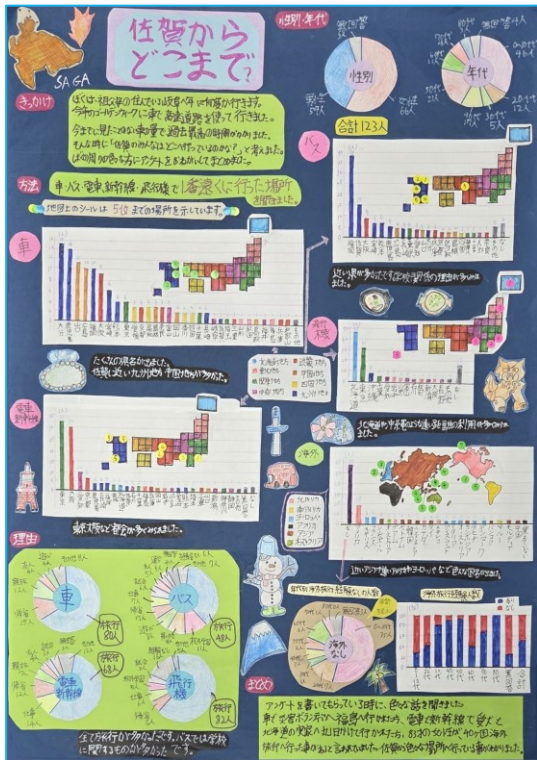
金田 竜空



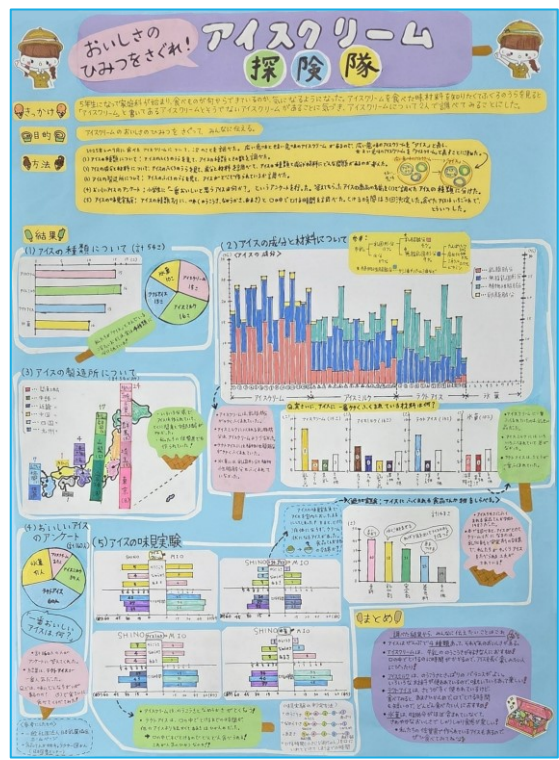
唐津市立北波多小学校 3年

福島 朱織

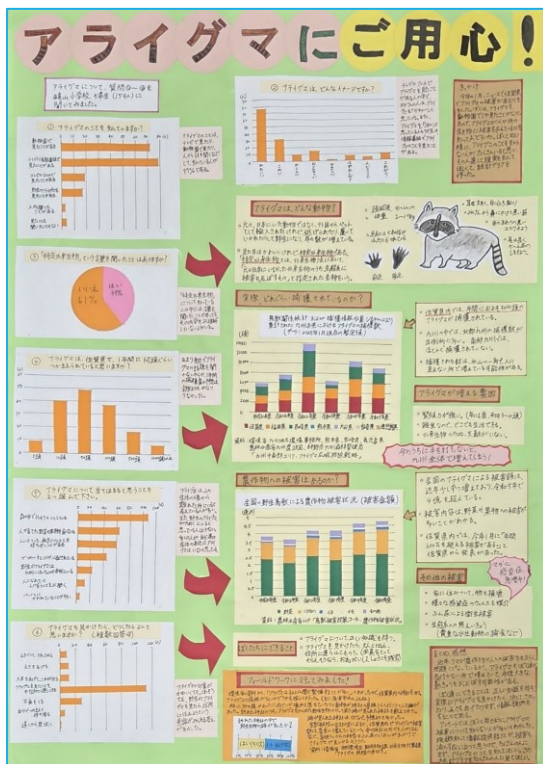
入選作品(第3部)



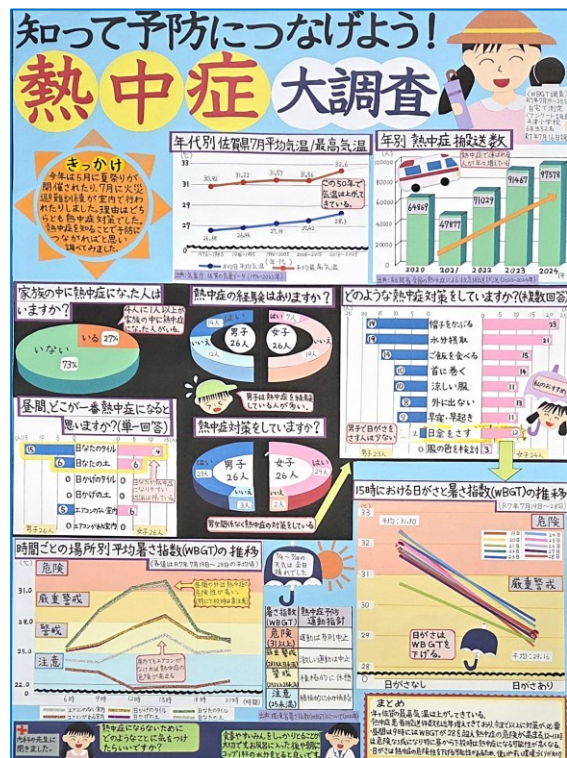
佐賀大学教育学部附属小学校 5年  
池田 新



佐賀大学教育学部附属小学校 5年  
中尾 紫乃 / 山下 実桜

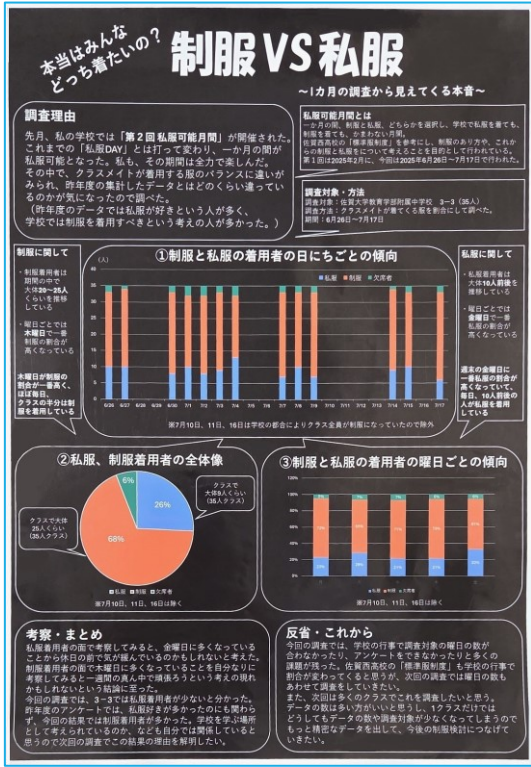


唐津市立鏡山小学校 5年  
向 大翔



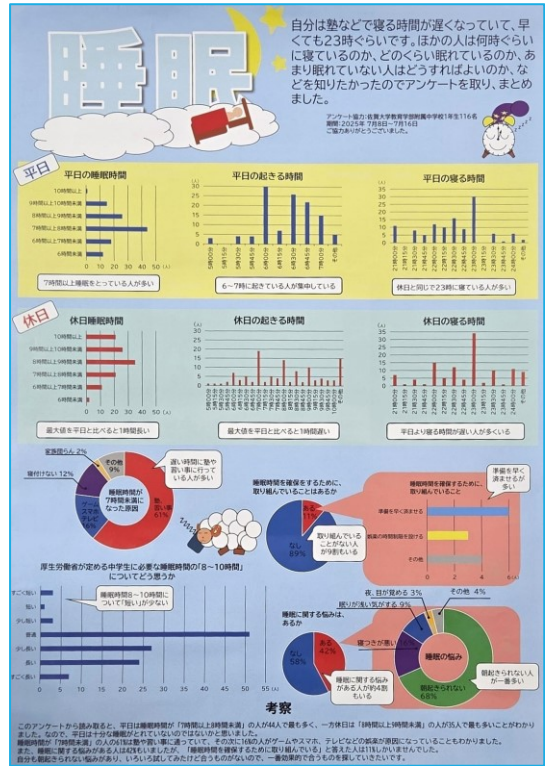
小城市立牛津小学校 6年  
岡田 愛未





佐賀大学教育学部附属中学校 3年

塚本 正悠



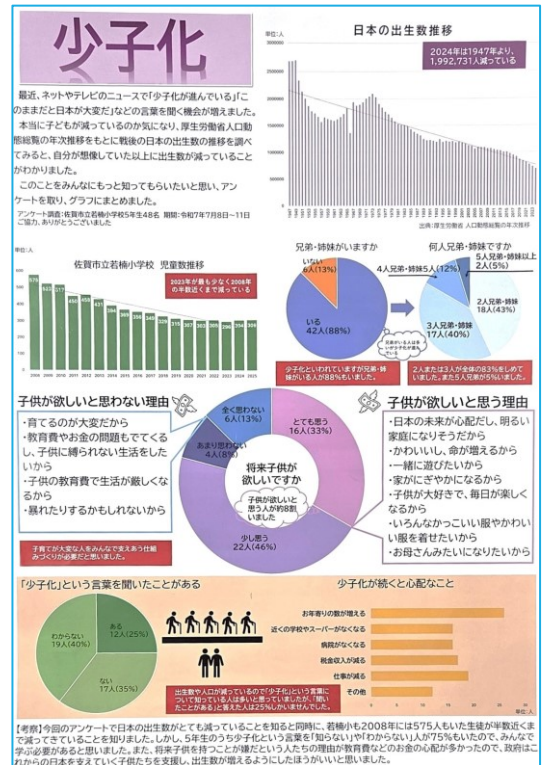
佐賀大学教育学部附属中学校 1年

亀川 碧



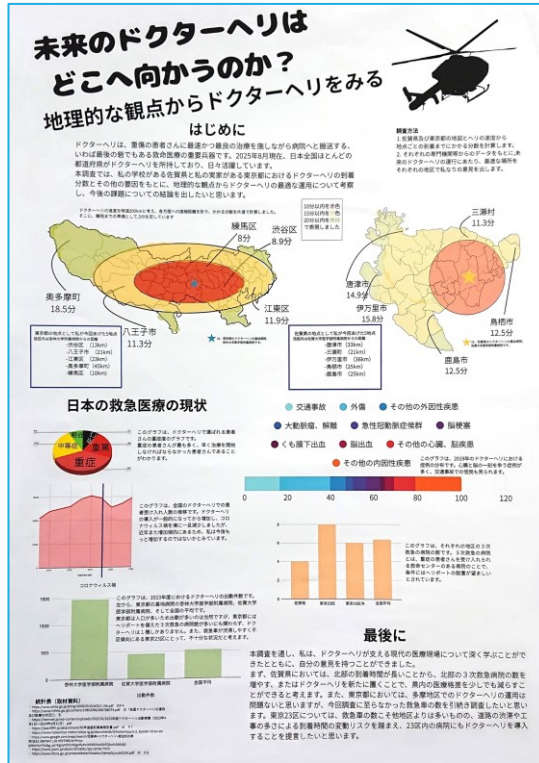
佐賀市立久保泉小学校 6年

千住 里衣紗



佐賀市立若楠小学校 5年

兼田 倅希



早稲田佐賀高等学校 1年

瀧口 郁

## 佳作 入賞者 一 覧

### (第1部)

佐賀大学教育学部附属小学校	2年	村山 繪
佐賀大学教育学部附属小学校	1年	吉村 和紘
佐賀市立巨勢小学校	1年	岡田 碧
佐賀市立高木瀬小学校	2年	山田 梨暖
佐賀市立北川副小学校	2年	千布 朔也
佐賀市立開成小学校	1年	和田 結仁郎
鳥栖市立基里小学校	1年	徳島 利音
小城市立三日月小学校	2年	佐藤 匠
神崎市立仁比山小学校	1年	菊田 真悠
みやき町立北茂安小学校	1年	本村 光

### (第2部)

佐賀大学教育学部附属小学校	3年	中尾 維人
佐賀大学教育学部附属小学校	3年	鶴田 美月
佐賀市立神野小学校	4年	松重 結子
佐賀市立西与賀小学校	4年	山口 湊太郎
佐賀市立新栄小学校	4年	田中 芽衣
鳥栖市立麓小学校	3年	東 陽菜乃
嬉野市立久間小学校	3年	上瀧 朝陽
有田町立有田中部小学校	4年	岩永 昌真
有田町立有田中部小学校	4年	大宅 薫栄
有田町立有田中部小学校	3年	大宅 一慶

### (第3部)

佐賀大学教育学部附属小学校	6年	松枝 あかり
佐賀大学教育学部附属小学校	5年	鶴田 陽登
佐賀大学教育学部附属小学校	5年	吉村 聡佑
佐賀市立新栄小学校	5年	吉村 妃織
佐賀市立春日小学校	5年	古賀 ほの香
鳥栖市立鳥栖小学校	6年	井筒 幸希
鳥栖市立鳥栖北小学校	6年	山下 亜嬉歩
鳥栖市立麓小学校	6年	七島 大翔
武雄市立朝日小学校	6年	石田 妃菜乃
武雄市立御船が丘小学校	5年	山崎 拓真

### (第4部)

佐賀大学教育学部附属中学校	3年	中嵐 椰釉
佐賀大学教育学部附属中学校	3年	西 穂奈美
佐賀大学教育学部附属中学校	2年	池田 日奈子
佐賀大学教育学部附属中学校	2年	江寄 一華
佐賀大学教育学部附属中学校	2年	田中 絆愛
佐賀県立武雄青陵中学校	3年	江崎 春陽
佐賀県立武雄青陵中学校	1年	中野 万弓
佐賀県立武雄青陵中学校	1年	福島 琉華
早稲田佐賀中学校	2年	太田 結菜
早稲田佐賀中学校	2年	藤井 結子
早稲田佐賀中学校	1年	田中 瑞貴

### (第5部)

佐賀大学教育学部附属中学校	1年	太田 晴
佐賀大学教育学部附属中学校	1年	田口 逢斗
佐賀大学教育学部附属中学校	1年	森重 仁貴
佐賀市立大和中学校	3年	岩村 紗和
佐賀市立大和中学校	2年	坂口 詩歩
佐賀市立大和中学校	2年	納富 有結叶
佐賀市立北川副小学校	6年	本村 ちなみ
小城市立三日月小学校	6年	佐藤 健琉
佐賀県立武雄青陵中学校	1年	松永 奈楠子

### (第6部)

一般		中村 純一	※再掲
佐賀県立佐賀商業高等学校	3年	伊東 竜也	
佐賀県立佐賀商業高等学校	3年	野中 隼	
早稲田佐賀高等学校	1年	阿部 真悠子	
早稲田佐賀高等学校	1年	木本 崇二郎	
早稲田佐賀高等学校	1年	山村 宥乃	
早稲田佐賀高等学校	1年	大塚 弘資	
早稲田佐賀高等学校	1年	中西 紀乃	
早稲田佐賀高等学校	1年	松本 萌李	
早稲田佐賀高等学校	1年	五島 麻結	

佐賀県及び佐賀県統計協会では、次の取り組みを行っています。

### 【作品用紙（B2判）の無料配布】

今年7月、統計グラフ佐賀県（全国）コンクール規格用紙であるB2判用紙を、学校等を通して希望した児童・生徒に無料で配布しました。また、ゆめタウン佐賀で実施したデータフェアにおいて、希望者へB2判用紙の無料配布を行いました。

○「ゆめタウン佐賀で実施したデータフェア」（令和7年7月12日（土））の様子



### 【統計グラフワークショップ】

県内小・中学生を対象に、統計グラフの作成を通じて、日常生活の中で統計を利用することの有用性を知り、統計調査への理解を深めるため、毎年、「統計グラフワークショップ」を開催しています。

#### 1 対象

県内の小・中学生

#### 2 内容

統計データの収集・読み取り、グラフ作成のポイントなどの演習を実施します

#### 3 開催日、場所

毎年6月頃、県内3ヶ所 ※今年度は終了しました

#### 4 参加費用

無料

※応募方法等、詳しくは県統計分析課（0952-25-7036）までお問合せください。

○今年実施しました「令和7年度統計グラフワークショップ」の内容や様子については、県統計分析課ホームページ『さが統計情報館』に掲載していますのでご覧ください。



来年度も、たくさんの応募をお待ちしています！

令和7年度統計グラフ佐賀県コンクール入賞作品集

---

令和7年11月発行

編集・発行 佐賀県政策部統計分析課

〒840-8570

佐賀県佐賀市城内一丁目1番59号